

あまくさ
市議会だより

結

— ゆい —



—立派なジャガイモがたくさん!—

牛深小学校の2年生34人が「食育」をテーマにジャガイモづくりを体験しました。(牛深地区振興会主催)

児童たちは種芋の植え付けや畑の除草作業、収穫を体験し、作物を育てる大変さや食べ物の大切さを学びました。



TOPIC
2

【議員提出第2号】天草市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について
議員定数の削減の議案を継続審査とすることに決定

議会運営委員会付託

6月20日の本会議において、議員定数を26人から24人に削減する議員提出議案が提案され、提案理由の説明と質疑の後、議会運営委員会へ付託しました。委員会の審査では、採決には時間をかけた協議が必要との意見が多数を占めたため「継続審査」となり、本会議において決定しました。

提案理由の概要

- ・本市の人口は、議員定数を30人から26人へ改正した平成25年から約18,000人減少し、今後もさらなる減少が見込まれている。令和7年度の国勢調査において大きく人口が減少する結果となれば、国からの地方交付税交付金の大幅な減額は避けられない。
- ・議会改革調査特別委員会において、令和4年度から5年度にかけ、議員定数について検討された。類似自治体との比較や各種団体意見交換会での市民アンケートの結果等を踏まえ、現状維持とすることが適当と結論付け、全員協議会で報告後、議会運営委員会において承認されているが、人口減少に伴う今後の本市の財政状況を考慮し、議員定数を26人から2減し、令和8年3月の選挙から24人とする。
- ・議会改革調査特別委員会では、慎重な協議を経て結論を出されているが、議員定数という議会の根幹を成す事案の決定は、天草市民全ての意見を反映させる意味において本会議の場で表決する必要がある。

議会運営委員会の審査内容

議会運営委員会では付託を受けた「議員定数削減」について、提案者等への質疑を行い審査した結果、議員定数を削減することについては理解するが、市民アンケートの実施や全員協議会での協議の場を設けるなど、定数削減の根拠や改正プロセスなど時間をかけて協議する必要がある、継続審査とすることを決定しました。

問 議会改革調査特別委員会の調査結果をどう考えるか。

答 委員会の意見は重く受け止めているが、市民から寄せられた意見を次の市議会議員選挙に反映させるため、定数削減の議案を提出した。

問 市民意見とはいっ頃、どのようなものがあったのか。

答 日常的に、市民から本市の規模で定数26人は多すぎないかとの意見があった。

TOPIC
3

【議第72号】教育委員会委員の任命について
【議第73～74号】人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて
教育委員会委員並びに人権擁護委員の人事案件3件に同意

任期満了に伴う教育委員会委員の任命、人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求める議案3件が提出され、すべて原案どおり同意しました。

役 職 名	氏 名	住 所	新任・再任
教育委員会委員	いけざき さずく 池崎 教授	牛 深 町	再 任
人 権 擁 護 委 員	えのきだ かずとし 榎田 和壽	久 玉 町	再 任
人 権 擁 護 委 員	うえもと ゆみこ 上元由美子	新 和 町	新 任

Topics

こんなことを話し合い
決めました

令和7年
第3回定例会

令和7年第3回定例会を6月2日（月）から6月20日（金）までの19日間の会期で行いました。

条例の改正や補正予算などの議案が提出され、審査・審議の結果、議員提出1件を継続審査とし、その他の議案は原案どおり承認・可決・同意しました。

今号では、議案の中から4件を紹介します。

今回の議案等は23件

- 報告…………… 5件
- 承認…………… 3件
- 条例…………… 5件
- その他の議決事項…………… 4件
- 予算…………… 2件
- 人事…………… 3件
- 議員提出…………… 1件



TOPIC
1

【議第71号】財産の取得について
小・中学校の児童生徒用タブレットを更新

教育厚生委員会付託

GIGAスクール構想第1期から約5年が経過し、小・中学校の児童生徒用タブレットが令和7年度末で更新時期を迎えるため、5,300台を購入します。

内 容

■購入金額

3億601万6,700円

■調達方法

国の補助金を受けるための条件である熊本県が実施する共同調達に参加し、ガイドラインに基づいた公募型プロポーザル方式により、評価点の高い事業者と仮契約を締結。

■タブレット更新時期

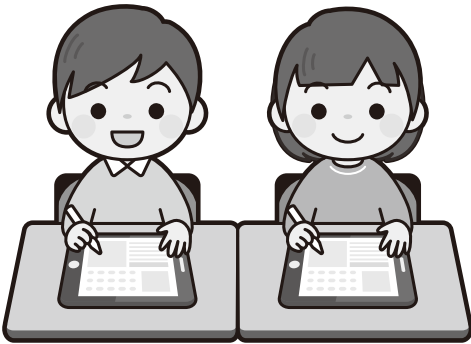
令和8年4月予定

問 現在使用しているタブレットの回収後の用途は。

答 5,700台のうち、4,700台は法律に基づいて処分し、残りの1,000台は学校や保育園などのニーズを把握し、利活用する。

問 購入するタブレットに新しい機能はあるのか。

答 落下などの衝撃に強く、情報処理能力は高まっているが、新しい機能はない。



令和7年第3回天草市議会（定例会）議案等

議案及び審議結果については、市ホームページからご覧いただけます。

■ホームページは

天草市議会 審議結果

検索



▲審議結果



議第67号		令和7年度天草市一般会計補正予算（第1号）																				賛否表						
会派名	政友会					市民クラブ				天政会		新風天草		日本共産党		公明党		無会派						表決数	結 果			
議員名	平山 泰司	浜崎 昭臣	船辺 修	柴田 誠	門口 徹	松岡 寿	下田昇一 郎	五嶋 善彦	澤井 一富	浦本 力	鶴戸 継啓	小川 圭三	鯖江 達朗	中尾 友二	濱洲 大心	前田 正之	浜崎 義昭	蓑田 庸子	五通 俊作	柳田 光芳	勝木 幸生	若山 敬介	宮下幸一 郎			竹本 亨	赤城 史浩	吉田 修
議第67号	一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	一	○	○	○	○	○	22:2	可 決

※電子表決システムによる採決により賛否が分かれたものに限ります。
※勝木幸生議員は議長職のため、表決には加わりません。

本会議、常任委員会などの議員出欠状況

開催日	委 員 名	総務政策常任委員会						市民生活常任委員会						建設経済常任委員会						教育厚生常任委員会						
		委	副					委	副					委	副					委	副					
		若山	柳田	勝木	中尾	浜崎	下田	門口	柴田	吉田	濱洲	澤井	小川	松岡	五通	前田	平山	船辺	宮下	鯖江	浦本	鶴戸	竹本	浜崎	五嶋	蓑田
4月21日	常任委員会（建設経済）													○	○	○	○	○	○	○						
4月23日	常任委員会（市民生活）								○	○	○	○	○	△												
4月30日	常任委員会（総務政策）	○	○	○	○	○	○																			
5月16日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月 2日	第3回定例会 本会議（開会・施政方針・提案理由の説明）	○	○	○	○	○	○							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月 9日	本会議（質疑）	○	○	○	○	○	○							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月10日	常任委員会（市民生活・建設経済）								○	○	○	○	○		○	○	○	○	○							
6月11日	常任委員会（総務政策・教育厚生）	○	○	○	○	○	○														○	○	○	○	○	○
6月12日	常任委員会（予算決算）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月16日	本会議（一般質問1日目）	○	○	○	○	○	○							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月17日	本会議（一般質問2日目）	○	○	△	○	○	○							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月18日	本会議（一般質問3日目）	○	○											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月20日	本会議（委員長報告・討論・採決・閉会）	○	○	○	○	○	○							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【議会運営委員会】

	委	副						議長	副議長
開催日	中尾	浜崎	浜崎	平山	鶴戸	下田	五通	勝木	濱洲
5月26日	○	○	○	×	○	○	○	○	○
6月 2日	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月18日	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月20日	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※勝木幸生議長と濱洲大心副議長は、委員外議員として出席

【議会改革調査特別委員会】

	委	副						
開催日	前田	柴田	五嶋	門口	蓑田	鯖江	柳田	吉田
5月 9日	○	○	○	○	○	○	○	○
6月 9日	○	○	○	○	○	○	○	○

【広報広聴委員会】

	委	副					
開催日	澤井	蓑田	濱洲	柴田	小川	柳田	吉田
3月28日	○	○	○	○	○	○	○
4月10日	○		○	○	○	○	○
6月 9日	○	○	○	○	○	○	○
6月12日	○	○	○	○	○	○	○
6月20日	○	○	○	○	○	○	○

※令和7年第2回定例会終了後から令和7年第3回定例会までの間に開催された本会議及び委員会などへの出欠状況を掲載しています。
※「○」は出席、「△」は遅参・早退等、「×」は欠席、「／」は所属外等、「委」は委員長、「副」は副委員長を表しています。

TOPIC
4

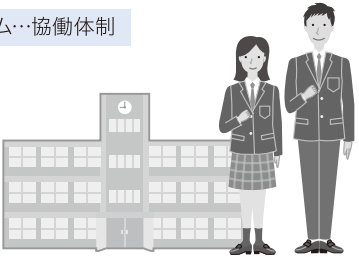
【議第67号】令和7年度天草市一般会計補正予算（第1号）
総合計画及びマニフェストに掲げる施策の推進に
16億5,690万5千円の補正予算を計上

予算決算委員会付託

高校魅力化コンソーシアム[※] 構築事業 500万円

本市に所在する県立高校の魅力向上を図るため、熊本県「県立高校魅力化コンソーシアムモデル構築支援事業（補助金）」を活用し、牛深高校魅力化支援事業を支援する。

（※）コンソーシアム…協働体制



問 本事業で期待する効果は。
答 小中高の連携や他地域からの受け入れ等による生徒数の維持を図る。また、現在導入が検討されている地域魅力化特例校の認定を受け県立高校統廃合の適用除外となることも期待できる。

恐竜の島博物館振興事業 3,200万円

御所浦恐竜の島博物館のリニューアルオープン1周年を記念した特別展の開催と誘客プロモーションにより認知度向上を図る。



問 特別展の期間と内容は。
答 9月20日から12月14日までの期間、世界の恐竜の化石や骨格レプリカなどを展示する（仮称）ティラノサウルス展の開催を予定している。期間中の来館者数は1万人、経済効果は4,200万円と見込んでいる。

天草未来人材育成・就職促進事業 750万円

人材育成の推進や人材不足解消のため、従業員の資格取得等に取り組む市内中小企業と個人事業者に対し、資格取得に係る研修等の受講や取得に要した経費を補助し、事業継続と経営安定化を図る。

問 支援のスケジュールは。
答 令和7年4月以降に新たに資格取得したもののについて、同年10月から受付を開始する。

問 補助を受けられる資格の対象の基準は。
答 国家資格と県知事が認定する資格講習を対象としている。

地域公共交通運行事業 1,599万7千円

令和6年度に実施した新和地域AIオンデマンド乗合タクシー実証事業の結果を踏まえ、令和7年8月より新和地域全域において本格運行を行う。

問 巡回バスと路線バスの運行は。
答 巡回バスは本格運行に合わせて廃止する。また、路線バス下大多尾線は本格運行から約2か月後に廃止する予定。

問 今後の公共交通の計画は。
答 令和7年度に牛深地域と倉岳地域の乗合タクシー導入の検討を行い、令和10年度までには、市内全地域で導入を完了する予定。



雑節、シャトルバス、空港愛称化、天草のさりーについて

浜崎 昭臣（政友会）



【牛深雑節について】

問 日本一の生産量といわれる牛深雑節の使用頻度を上げるため、飲食店・宿泊業者に対し補助金を出すことはできないか。

答 市内事業者が自発的かつ積極的に雑節を使用されるよう節等製造者連絡協議会の活動をバックアップする。

【出水駅蔵之元港間シャトルバスについて】

問 出水駅蔵之元港間シャトルバスの老朽化による車両の更新とルート変更を問う。

答 運行事業者へ強く要求するとともに出水駅蔵之元港間シャトルバス利用促進協議会でしっかりと協議していく。

【天草空港愛称化について】

問 来年の雲仙天草国立公園指定70周年を機に「天草四郎空港」愛称化を再度提案するが。

答 天草空港利用促進協議会の団体の総意として賛同が得られたら、協議を行いたい。

要望 相乗効果を生み出すには複数の要素を上手く組み合わせることが重要である。「天草四郎空港」への愛称化でネームバリューが高まり観光客が急増すると信じ実現を要望する。



▲天草エアラインみぞか号

【天草のさりーについて】

問 天草のさりーの利用促進のためプレミアムキャンペーンの実施はできないか。

答 天草のさりーは域内経済の好循環を図る大変重要な事業。今後さらなる利活用を図るため、強力に推進していく。



男女共同参画社会実現への課題、天草市での生活を支える第一次産業の役割について

蓑田 庸子（日本共産党）



【男女共同参画社会実現への課題】

問 男女共同参画計画に掲げる指標の現況値と目標値は。

答 審議会等の女性の登用率は、目標35%に対し28.3%、市役所の管理的地位（課長以上）については目標25%に対し18.0%、監督職ポスト（課長補佐・係長）については目標30%に対し19.7%。

問 管理・監督職を担う女性職員を増やすための具体的な取組は。

答 専門研修への派遣や仕事と家庭の両立に向けた早出遅出勤務制度の導入など、職場環境の整備を積極的に取り組んでいる。

問 目標を達成するための問題点と課題は。

答 女性の政策方針決定の場への参画は十分ではないと認識している。さらなる法制度の充実をはじめ、多くの皆様に理解いただけるよう推進に努めていく。

【天草市での生活を支える第一次産業の役割】

問 農業従事者数の推移は。

答 平成22年度から令和2年度までの10年間で47%減少している。

問 農作物の価格低下や自然災害による経営の不安定化などは、新たに農業への就農を考える人が断念する原因となっているのではないか。市独自の農作物の価格保証、所得補てん制度の創設は考えないのか。

答 国レベルでの議論の動向を注視したい。



▲指導員から助言を受ける新規就農者



施政方針における「活力あるまちづくりの推進」の施策について

中尾 友二（新風天草）



【天草版地方創生推進本部の設置について】

問 天草版地方創生推進本部の設置で支所の取組を強化し、支所を中心に新たな特色ある取組やアイデアが生まれると期待するが、市長の考えは。

答 持続的な地域活動を進めるためには、地域への思いが深い支所職員の役割が欠かせない。そのため、支所に勤務し支所業務と本庁業務を行う職員を4月から牛深支所に配置した。牛深支所で業務を行いながら本庁の地域政策課とオンラインで業務を行う。実績や課題等を検証し職員がより地域活動に取り組める環境整備を進めていく。

地域を支える大きな役割を担うのは、各支所の取組であり、6月30日には「天草版地方創生推進本部」を設置する。私（市長）が本部長となり、副市長、教育長、各部長、各支所長とともに、地域をどう守っていくのか、活性化していくのか、全庁的に協議・共有し、その実現に向けて取り組んでいく。

思いのないところに道は開けない。各支所職員はもとより全ての職員が地域と密接に関わり、地域を守りつないでいく人材を掘り起こし、人材同士をつなぐことで地域の魅力を再発見していただく。そして、自分が暮らす地域に自信と誇りを持つと同時に、子どもたちにも「帰って来い」と言える暮らし続けたくなるまちをつくっていく。このような取組が「天草版地方創生への挑戦」である。



そこが聞きたい!! ここを聞きたい!! 一般質問

6月16日から18日までの3日間で行った一般質問では、13人の議員が質問に立ちました。

通告番号	質問者	質問事項	ページ
1	中尾 友二	①施政方針について	P6
2	蓑田 庸子	①男女共同参画社会実現への課題と道筋について ②持続可能な天草市での生活を支える第一次産業の役割について	P7
3	浜崎 昭臣	①交流人口の拡大、宿泊者の増加について ②出水駅蔵之元港間シャトルバスについて ③交通アクセス改善に向けた担当課新設について ④天草空港愛称化について ⑤天草のさりーの利用促進について	P7
4	吉田 修	①出会いの場の創出について ②天草市地域公共交通計画について ③デジタル地域通貨天草のさりーについて	P8
5	柳田 光芳	①三県架橋実現に向けて ②市街地でのイノシシ対策について ③障がい者支援について	P8
6	小川 圭三	①上下水道事業運営の現況と今後の課題・対応について	P9
7	下田昇一郎	①行政評価における成果指標の導入と成果連動型民間委託契約方式（PFS）の可能性について	P9
8	松岡 寿	①雲仙・天草国立公園指定70周年事業に向けた取組について ②御所浦恐竜の島博物館開館1周年を迎えて ③本市のごみ処理施策の今後について	P10
9	五通 俊作	①本市の動物愛護の取組について ②雲仙・天草国立公園指定70周年の取組について	P10
10	五嶋 善彦	①「天草版地方創生への挑戦」について	P11
11	澤井 一富	①令和7年度施政方針について	P11
12	浜崎 義昭	①公共交通とコミュニティ交通について ②都市計画税の見直しについて	P12
13	宮下幸一郎	①農業施設の現状について ②RSウイルス感染症ワクチン助成について ③天草市全島フリーWi-Fiの島構想について	P12



**「成果」に基づく行政運営と
新たな官民連携 (PFS) の
導入可能性について**

下田昇一郎（市民クラブ）



問 市の施策評価は活動回数や参加人数などの活動指標が中心で、市民にとってどのような成果があったかを示す成果指標の視点が弱いように感じる。限られた予算の中で質の高い行政運営を行うには、成果指標の導入が重要だと考えるが、本市の見解を伺う。

答 活動指標は測定がしやすく、成果指標は定義や効果の把握が難しい面もあるが、行政の質を高めるために成果の可視化は重要と認識している。今後は事務事業にも成果指標を導入し、評価の充実に努める。

問 民間事業者の創意工夫を生かし、成果に応じて報酬を支払う「成果運動型民間委託契約方式(PFS)」は、官民連携の新たな手法として注目されている。費用対効果やサービスの質の向上に期待できると考えるが、本市での導入可能性と今後の検討状況は。

答 本市におけるPFSの導入実績はないが、一部の業務では成果を基準とした評価を行っている。PFSの導入は契約管理の複雑さや成果の定義など課題もあるため、今後は先進自治体の事例や国の制度を活用し、制度内容の理解を進めていく。

活動指標と成果指標の違い

	活動指標	成果指標
定義	業務やプログラムに対して「何をしたか（量・回数）」を示す	業務やプログラムによって「何が達成されたか（結果・変化）」を示す
例	実施した研修数、相談件数 開催したイベント数	満足度の向上、相談後の就職率アップ 苦情件数の減少、宿泊客数の増加
ポイント	実施主体の「努力」や「アウトプット」に近い	住民や地域に対して生まれた変化「結果」・「成果」
用途	業務管理や達成度チェックに活用	目的達成や行政サービスの品質評価に活用
難易度	測定しやすい (数えて整理するだけ)	測定に工夫が必要 (アンケート、統計データとの比較)

□活動指標：やった量、回数、件数

□成果指標：やった結果、達成された状態、社会に起きた変化



**上下水道事業運営の現況と
今後の課題・対応について**

小川 圭三（天政会）



問 上下水道事業の現況と改修計画は。

答 上水道管の総延長は1,223kmで、漏水の発生や老朽化の著しい管路の更新を進めている。また、下水道管の総延長は419kmで、施設の長寿命化計画に基づき改築更新や耐震化対策を進めている。

問 令和5年9月定例会で天草市上下水道事業運営審議会設置条例が制定された。6回の審議後の答申内容は。

答 料金改定は前回の改定から9年以上経過しており、事業を持続可能とするために必要である。改定率は水道料26.11%、下水道使用料30.00%と示された。

問 平均的な一般世帯で上下水道を使用すると、2,354円/月、28,248円/年が増加する。答申に基づいた今後の対応は。

答 市民への安心・安全な水の供給と適正な水質保全のため、老朽化した管路や施設を計画的に更新する必要がある。収益は、今年度から赤字になる見込みのため、料金改定が必要と考える。

問 この物価高騰の中で、生活に一番必要な上下水道の料金を値上げすると、今以上に生活が厳しくなる。段階的な値上げができないか、市長の考えは。

答 昨今の物価高騰で、市民の皆様にさらに過度な負担をお願いすることは、大変心苦しく思っている。段階的な値上げを検討し、市民の負担軽減を図っていきたい。

料金改定見込による水道料金・下水道使用料比較表

水道料金比較（メーター口径13mmの場合）

使用水量	旧料金	新料金 (見込)	差 額
20m ³	4,708円	5,962円	1,254円

下水道使用料比較

使用水量	旧料金	新料金 (見込)	差 額
20m ³	3,740円	4,840円	1,100円



**三県架橋実現に向けて、
市街地でのイノシシ対策について**

柳田 光芳（公明党）



【三県架橋実現に向けて】

問 三県架橋実現に向けて看板等の視覚的周知が重要となるが、設置の状況は。

答 牛深港のフェリー発着所と上天草市大矢野町の国道沿いに設置している。

問 本市が現在進めている海業モデル事業の成功と牛深のにぎわいを取り戻す意味においても架橋の実現が大きな役割を果たすと考えるが、市長の見解は。

答 海業モデル事業の成功は、他地域との交流をいかに増やすかに命運がかかっている。地元期成会会長として、架橋建設に向けた調査の再開等、国への要望活動に積極的に取り組み、さまざまな機会を通し天草地域の機運醸成に尽力していきたい。

【市街地でのイノシシ対策について】

問 市街地でのイノシシ対策の現状は。

答 市役所関係各課及び警察が合同で、イノシシを山へ追い払うなどの対応をとっている。また、市民へは、近寄らない、刺激を与えないよう周知している。

問 罠の設置規定にある「民家から200m離れた場所」との基準を見直す考えは。

答 市街地に箱罠を設置すると、対象外のイノシシを誘引する可能性があるほか、子どもやペットなどの動物が近づき怪我をする危険性がある。箱罠の設置により事故が発生した場合、設置した捕獲隊員の責任となる可能性もあるため、市街地への設置は難しいと考える。



▲箱罠で捕獲されたイノシシ



**天草市地域公共交通計画、
デジタル地域通貨天草のさりー
について**

吉田 修（無会派）



【天草市地域公共交通計画について】

問 新和地域のAIオンデマンド乗合タクシー実証運行の結果をどのように分析するか。

答 令和6年12月から翌7年2月の3か月間で延べ860人が利用され、利用者アンケートで9割以上が「便利」と評価された。携帯電話未所有者の対応のため、直通電話を設置し電話予約も対応していく。

問 天草市全域の公共交通の再編はいつまでに行うのか。

答 公共交通の再編は、乗合タクシーの導入、路線バス等も含めた交通体系の効率化など令和10年までの完了を目指している。

【デジタル地域通貨天草のさりーについて】

問 通常時のチャージにポイント付与はできないか。

答 これまでは国の地方創生臨時交付金を活用し、期間を限定したポイント付与を行ってきた。普段使いを推進していくためには有効な手段であるが、財源が課題である。

問 天草のさりーを市役所窓口での手数料や公共施設の利用料の支払いに使えないか。

答 地方自治法により、市が直営する天草のさりーは、市の収納には利用できない。

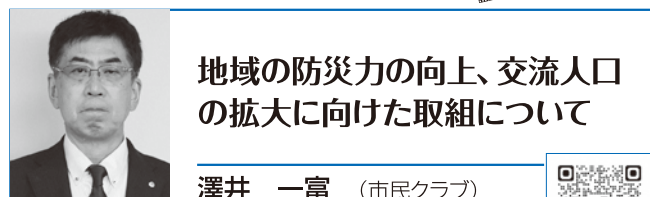
問 市税の支払いによるポイント還元は、民間運営であれば可能か。

答 運営主体が民間であれば制度上は可能。

要望 天草のさりーには意義がある。天草の経済循環、市民の利便性の向上に努めていただきたい。



▲天草のさりーでの支払い



地域の防災力の向上、交流人口の拡大に向けた取組について

澤井 一富（市民クラブ）



【地域の防災力の向上について】

問 南海トラフ地震により津波が発生した場合の本市の対応は。

答 推定震度4以上や津波警報が発表された場合は、全国瞬時警報システムにより防災行政無線や携帯電話を通じて、市民に周知される。本市の対応としては避難指示を直ちに発令し、発災後は状況に応じて避難所を開設する。備蓄品等の提供を行いながら、被災者支援を行っていく。

問 地震発生時には、今いる場所が海拔何メートルなのか把握する必要がある。電柱等に表示してある標高表示看板は本市に何か所あるのか。

答 市内の海岸線を中心に電力柱、電話柱1,000か所に設置している。

要望 ゴミステーションの金網などに表示すれば多くの方の目に触れると思う。設置の検討をお願いします。



▲電柱に設置してある標高表示看板

【交流人口の拡大に向けた取組について】

問 五和町には多くのキリシタン墓碑群があるが、草刈り等の管理が難しくなっている。市が貴重なキリシタン遺産を管理する考えはないか。

答 個人所有の墓碑群については、行政による管理は難しい。地域の貴重な財産である墓碑等は、所有者管理のもと地域の協力により保全されていることに改めて感謝する。



「天草版地方創生への挑戦」について

五嶋 善彦（市民クラブ）



問 合併以来「ヒト、モノ、カネ」等が中心部に移動し、一極集中が進んでいる。国における地方創生に置き換えて「天草版地方創生」とされた、市長の考えは。

答 市の中心地である本渡地域の都市機能充実を図りながら、歴史や文化、産業、人、自然資源豊かな各地域がつながり、ヒト、モノの交流と循環により、市全体の活性化を図るものである。

問 合併の目的として、類似施設を集約し、ネットワークを構築することが挙げられていた。複合施設「ここらす」や「あましんスタジアム」など、利用促進のための交通アクセスの構築は。

答 本市の公共交通については、地域内の移動にAIオンデマンド乗合タクシー等の導入を図り、幹線区間では、路線バスを集約し、1時間に1便程度の運行確保や快速ダイヤの導入を検討している。



▲AIオンデマンド乗合タクシーの実証運行

問 今回の施政方針において「天草版地方創生推進本部を設置し、強力に支所の取組をバックアップする」とあるが、この事業に対する、市長の考えを伺う。

答 少子高齢化による担い手不足の進行など、私たちを取り巻く社会環境の変化に対応する地域活動を推進するためにも、推進本部で協議しながら、人づくりを中心とした各地域の活力を取り戻していくまちづくりの方向性を定めていく。



本市の動物愛護の取組、雲仙・天草国立公園指定70周年の取組について

五通 俊作（公明党）



【市営住宅におけるペット共生の可能性について】

問 市営住宅でのペット飼育を可能とする考えはないのか、市長の考えを伺う。

答 市営住宅は、入居者や近隣住民の安心安全な生活環境を保つことが重要と考えるため、現時点ではペットの飼育を可能とすることは考えていない。

【雲仙・天草国立公園指定70周年の取組について】

問 70周年への取組とその進捗状況は。

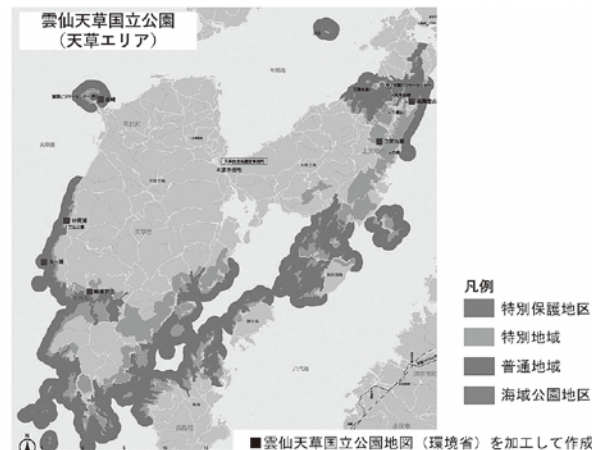
答 70周年の記念イベントでは、交流や関係人口の増加などを目指し、長距離のサイクルイベント開催に向け、本年度プレ大会と令和8年度の本大会を予定している。

このほかに、アーカイブ展の開催に向け、資料の収集など準備をしている。

問 市長の70周年、100周年に向けての考えを伺う。

答 まずは西海岸エリアの魅力をさらに磨き上げ、長崎・鹿児島方面をつなぐ広域観光に一層の力を入れていきたい。

また、100周年に向けては、観光地域づくりの司令塔となる「観光地域づくり法人(DMO)の構築」が必要だと考えている。本市に合った観光地域づくり法人の調査・研究を進めたい。



▲雲仙天草国立公園の天草エリア



国立公園70周年事業の取組、恐竜の島博物館の現状と展望

松岡 寿（政友会）



【国立公園70周年関連事業の進捗は】

問 国立公園内の支障木の伐採や鬼海ヶ浦、鶴葉山における園地整備計画及び誘導サインの具体的な内容と進捗状況は。

答 整備計画において、国立公園区域内の景勝地で繁茂により景観を阻害する樹木の伐採は、令和6年度から2年間で実施しており、昨年度9か所、令和7年度は西平園地など10か所を計画している。また、天草町の国民宿舎跡地の利活用として、公園整備とキャンピングカーの宿泊設備の導入も併せて計画している。観光サインの整備は、解説文の多言語化や案内看板の改修・更新など10か所を計画している。



▲雲仙天草国立公園（妙見浦）

【御所浦恐竜の島博物館の現状と運営方針】

問 観光客のマイカー来島は控えられているが、利用者へ向けての対策は。

答 可能な限り車での来島を控えていただいているため、EVシェアカー5台の配備や物産館による電動アシスト自転車10台の導入など、来島者の移動手段としている。

問 博物館の現状及び今後の運営方針は。

答 来館者の多くは、長期休暇や週末に集中している。秋冬や平日の増加を図るため（仮称）ティラノサウルス展や人気アニメキャラクターの活用で誘客を図りたい。また、滞在時間延長につながるツアーなどにも取り組む。

長年の功績を称え 全国市議会議長会 永年勤続議員表彰

5月20日に東京都で開催された第101回全国市議会議長会定期総会において、永年にわたり市政の振興に努めた功績を称え、本市議会より6名の議員が表彰を受けられました。また、6月2日の本会議において、議長から表彰状の伝達及び市長から感謝状の贈呈が行われました。

浜崎 義昭 議員 (議員30年表彰)

議員歴

- ・平成6年7月～18年3月
(牛深市議会議員)
- ・平成18年6月～現在
(天草市議会議員)



今回、永年勤続議員表彰を賜りました。市民の皆様の声を議会で発言し続けて30年、市民要求が実現したこともたくさんありますが、まだまだ実現していない事もたくさんあります。今後も多くの問題が次々に出てくると思います。これからも市民の暮らし優先の市政実現に東奔西走し、市民の皆様の声を議会に届けてまいります。

宮下幸一郎 議員 (議員20年表彰)

議員歴

- ・平成16年2月～18年3月
(五和町議会議員)
- ※町議会議員の勤続年数は、1/2が市議会議員の年数に通算される。
- ・平成18年4月～令和4年4月、6月～現在 (天草市議会議員)



勤続20年表彰をいただき、ひとえに天草市民の皆様のご支援のたまものです。厚くお礼申し上げます。

これからも、市民の皆様へ幸福を届けることを念頭に、地場産業の飛躍・浮揚に貢献することを心に留め、身近な存在として活動してまいります。今後とも変わらぬご指導賜りますよう、よろしくお願いいたします。



中尾 友二 議員 (正副議長4年表彰)

正副議長歴

- ・平成26年4月～28年6月
(天草市議会副議長)
- ・令和4年4月～6年6月
(天草市議会議長)



この度、全国市議会議長会より議長・副議長通算4年の表彰を受けました。市民の皆様、議員の皆様に深く感謝申し上げます。

今後も「知恵を出す・行動する・皆様の声を一つに・地域の絆を大切に・皆様の思いを市政に」の5つを基本姿勢とし、住民福祉の増進に努めてまいりますので、ご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

船辺 修 議員 (議員20年表彰)

議員歴

- ・平成14年12月～18年3月
(新和町議会議員)
- ※町議会議員の勤続年数は、1/2が市議会議員の年数に通算される。
- ・平成18年4月～現在
(天草市議会議員)



この度、全国市議会議長より永年勤続表彰を賜りました。

これもひとえに多くの皆様のご支援、ご指導のたまものと心から感謝申し上げます。

これからも、地域住民の皆様の幸せと天草市のさらなる発展のために、これまで以上に精進してまいります。今後とも、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

QRコードで質問の動画が見られます



農業施設の現状、 RSウイルス感染症対策について

宮下幸一郎 (無会派)



【地域農業施設の変化について】

問 農業委員や農地利用最適化推進員にご尽力いただいた地域計画で見えてきたものは。

答 令和5年度から6年度にかけて、27地域の「地域計画」を策定し、守るべき農地と担い手の見える化ができた。担い手の確保と農地集積の促進、地域ぐるみで地域農業を守る必要がある。

問 農業経営には安定的な農業用水確保が必要であるが、農業用施設の消耗や劣化について問題点を調査し、国や県へ補助対象として要望する考えはあるか。

答 高齢化や担い手不足等による農業者の減少で、施設の維持管理に大きな負担が生じることが見込まれるため、国や県へ受益者負担割合の引き下げなどを要望する。

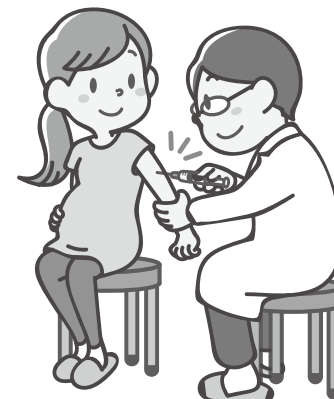
【RSウイルス感染症対策について】

問 RSウイルス感染症とは。

答 RSウイルスは呼吸器の感染症で、生後2歳までにほぼ100%の乳幼児が感染する。

問 ワクチン接種の助成は。

答 RSウイルス感染症の治療には特效薬はない。1回の接種で済む重症化予防のワクチンはあるが、保険適用でも高額な個人負担が必要となる。感染状況等を勘案し、調査・研究する。



公共交通とコミュニティ交通、 都市計画税の見直しについて

浜崎 義昭 (日本共産党)



【公共交通とコミュニティ交通 について】

問 各地域の交通難民の実態を把握したうえで支援をどのように進めるのか。

答 今年度は牛深地域・倉岳地域への導入の検討を行い、両地域とも令和8年度中の導入を予定している。

問 AIオンデマンド乗合タクシーの本格的な運行を実施していく中で、市民の利用方法や料金設定などの運行内容は。

答 平日のみの運行で利用時間は午前7時半から午後5時まで。料金は乗車地点から降車地点までの直線距離に応じ300円から700円。各種障がい者手帳をお持ちの方や免許返納者、小学生以下は半額となる割引制度を設けている。



【都市計画税の見直しについて】

問 天草市都市計画区域内に指定された畑、山林、雑種地、原野の地目について、土地区画整理事業が行われる予定はあるか。また、課税の見直しの考えはあるか。

答 現在のところ、事業を行う予定はない。また、課税の見直しについては、現時点では検討していない。

要望 都市計画年報(平成20年)によると、全国の自治体では都市計画税を課税していない自治体や畑・山林・原野などに課税していない自治体も多く存在する。本市の見直しを求める。

所管事務の調査

令和7年4月23日

市民生活委員会

(柴田誠・吉田修・濱洲大心・澤井一富・
小川圭三・松岡寿)

市民生活委員会では、上下水道の施設や設備の現状を把握し、今後の議案審査等に生かすため、現地調査を実施しています。今回は下島南部地域にある以下の施設について、処理能力、稼働状況、管理状況等を確認しました。

現地調査先

- ・内の原浄水場（久玉町）
- ・浦越浄水場（魚貫町）
- ・一町田浄化センター（河浦町）
- ・高浜浄化センター（天草町） 他5施設



◀高浜浄化センターの現地調査



▲内の原浄水場の現地調査

調査を終えて

上下水道の施設や設備にはかなりの年数を経過しているものがあり、今後も計画的に更新を行う必要があります。

当委員会では、昨年度より閉会中の所管事務調査を行い、実際に現地を確認することで、的確な現状把握に努めてまいりました。今後も限られた財政状況の中で運営していく必要があることから、市民生活に支障が生じないように、施設の現況把握や動向を注視し、議案審査等に生かしていきます。

所管事務の調査

令和7年4月21日、6月10日

建設経済委員会

(五通俊作・前田正之・平山泰司・船辺修・
宮下幸一郎・鯖江達朗・浦本力)

建設経済委員会では、本渡港周辺環境整備事業の進捗状況等を把握するため、令和6年から所管事務調査を行っています。今回は、熊本県主体の整備地等の現地調査のほか、本市の観光施設における指定管理施設の現状についても調査を行いました。

現地調査先

- ・本渡港周辺環境整備事業関連地
- ・うしぶか海彩館



▲うしぶか海彩館の現地調査



▲本渡港の現地調査

調査を終えて

本渡港周辺環境整備事業については、熊本県が事業主体の整備内容と市のスケジュールを確認し、スピード感を持ったまちなかの整備が必要と認識しました。

また、本市の観光施設における指定管理施設の現状については、管理状況等を確認し、令和6年度から大規模改修を行っているうしぶか海彩館の現地調査を行いました。

当委員会では、今後も状況把握や課題について協議するなど、議案審査等に生かしていきます。

全国市議会議長会永年勤続議員表彰

鶴戸 継啓 議員
(議員15年表彰)

議員歴

・平成22年4月～現在
(天草市議会議員)



この度、永年勤続表彰を賜りましたことに市民の皆様へ心より感謝申し上げます。

15年という大きな節目を迎えることができたのは、ひとえに皆様の温かいご支援とご理解のおかげです。これからも、天草市のさらなる発展のために地方自治の振興に尽力し、地域の皆様の声に耳を傾けながら誠心誠意取り組んでまいります。

今後ともご指導賜りますようよろしくお願いいたします。

濱洲 大心 議員
(議員15年表彰)

議員歴

・平成22年4月～現在
(天草市議会議員)



この度、永年勤続15年の議員表彰を賜り、これまで支えていただいた皆様へ心から感謝申し上げます。

これまで「人が輝く天草市を目指して」をスローガンに小学生の登校時の見守り、地域活動とおして、現場第一と考えて行動をしてまいりました。皆様の要望を全てかなえるのは不可能ですが、これからも日々精進してまいります。今後も叱咤激励のほどよろしくお願いいたします。

所管事務の調査

令和7年4月30日

総務政策委員会

(若山敬介・柳田光芳・勝木幸生・中尾友二・
浜崎義昭・下田昇一郎・門口徹)

総務政策委員会では、牛深港周辺整備事業の進捗状況等を把握するため、令和6年から所管事務調査を行っています。今回は、旧牛深漁協施設の解体予定地の現地調査や総合交流施設等基本計画案について調査を行いました。

現地調査先

- ・旧牛深漁協施設

調査を終えて

旧牛深漁協施設の地盤には、数百本の杭が埋設されており、杭を抜いた場合、地盤の軟弱化が想定されるとのことで、杭はそのまま残す形で解体を行うとのことでありました。

総合交流施設等基本計画案の概要版については、先人たちが残してきた「入り江」を活用し、観光経済を支える基盤を作ることを基本理念とするとのことでありました。



▲旧牛深漁協施設の現地調査

この基本理念を踏まえ、「牛深の海を守り学び継承する場づくり」、「牛深を支える人材と活力を生み出す場づくり」、「牛深に新たな人流を生み出す場づくり」を基本方針とし、総合交流施設やチャレンジスペースを活用した取組を進めるとのことでありました。

当委員会では、漁業者の所得向上と雇用創出、民間活力の導入につながるよう、また、人を呼び込み、お金を使ってもらえる施設になるよう注視し、議案審査等に生かしていきます。

委員会行政視察報告

広報広聴委員会 (5月21日～23日)

■視察先

- ・香川県琴平町
- ・愛媛県東温市

■視察内容

「議会だよりの企画・編集・発行について」
「市民に伝わりやすい紙面作成の工夫について」



視察報告

両議会ともに議長会主催の研修会やオンラインセミナーに何度も参加し、内容のブラッシュアップを図られており、議会だよりの作成に情熱を持って取り組んでおられる様子が伺えました。

また、フルカラーの紙面において、色使いなどの工夫や、住民の写真や声を掲載するなど興味を持ってもらえるような工夫をされていました。

視察を終えて

今後も、より多くの市民の皆様に興味を持って議会だよりを手にとっていただくことを最優先に考えていきたいと思います。

今回の視察を踏まえ、見やすく分かりやすい紙面づくりを心がけ、より開かれた議会として、議会だよりの役割が果たせるよう取り組んでまいります。

■次期(9月)定例会会期日程(予定)■

日	月	火	水	木	金	土
8/31	9/1	2 本会議 (開会、提案理由の説明)	3 休会	4 休会	5 本会議 (質疑)	6 休会
7 休会	8 市民生活委員会 建設経済委員会	9 総務政策委員会 教育厚生委員会	10 予算決算委員会 (補正予算審査)	11 休会	12 休会	13 休会
14 休会	15 敬老の日	16 予算決算委員会 (決算審査)	17 予算決算委員会 (決算審査)	18 予算決算委員会 (決算審査)	19 予算決算委員会 (決算審査)	20 休会
21 休会	22 本会議 (一般質問)	23 休会 秋分の日	24 本会議 (一般質問)	25 本会議 (一般質問)	26 休会	27 休会
28 休会	29 本会議 (委員長報告 討論・採決、閉会)	30	10/1	2	3	4

※予定は変更になる場合があります。

市議会を見る・聞く

◎インターネット等で中継しています!

本会議の様子はインターネットで生中継・録画配信を行っています。また、ケーブルテレビでも中継を行っています。



▲市議会中継

◎本会議や委員会の傍聴ができます!

本会議や委員会は天草市役所3階の議場や委員会室で傍聴できます。詳しくは議会事務局にお尋ねください。



※会議は通常午前10時に開会します。



濱洲 大心



副委員長
荒田 庸子



委員長
澤井 一富



委員
木口 健二



吉田 修



柳田 光芳



小川 圭三



柴田 誠

(小川 圭三)

さて、今年も県内では6月から35度超えの猛暑日から始まり、暑い日が続いています。夏本番はこれからです。熱中症には十分気を付けましょう。

また、これから台風が発生する時期となり、想定外の豪雨災害が心配されます。情報収集や早めの避難など、身を守る行動を心がけましょう。

(小川 圭三)

編集後記

広報広聴委員会で5月21日から23日にかけて、香川県琴平町と愛媛県東温市にて行政視察を行い、議会だよりの企画・編集・発行状況や市民に伝わりやすい紙面作成の工夫などについて意見交換を行いました。

市民の皆様が読みやすく、分かりやすい紙面づくりとして、写真やイラストを多用し、視覚的に分かりやすいよう紙面のオールカラー等への検討が必要と感じました。今後も、市民の皆様が手に取っていただけるような紙面づくりに努めたいと思います。